

本当に大丈夫ですか？
両親を亡くした
無防備な若い子
とはいえですね？
人間の雄ですよ？

はい
大丈夫ですよ
私にお任せください

それに…
独りは寂しいじゃない
ですか、この子も家族が
欲しいと思つてます
だから、私が責任をもつて
この子を立派な
人間にしてみせます
立派にね…うふふ♡



初日
夜

最高っ♡

3年後
夜

10年後
朝

ごめんね♡
大人のおねえちゃん
間のおねえちゃん
きいてたから
とたいな子
君といたかったの♡
大人のおねえちゃん
きいてたから
とたいな子
君といたかったの♡

好みの男に育って
お姉ちゃんも
うれしかった♡

お久しぶりですね
エルロース…
！！？！？
な、何があった
のです！？

お久しぶりです、
あの子立派な男の子に
なりましたよ、♡
沢山教えたんで、今では
もう毎日お盛んです♡
よろしければ…♡
ご紹介しましょうか？



それじゃあ…
身体を洗いましょう
一人で脱げる？
怖がらなくて大丈夫
ですよ
お姉ちゃんに任せて
ください

可哀想に…
こんなに震えて…
過去によつぽどの
怖い思いをしたの
ですね…

でも大丈夫ですよ
私が責任をもって
この子を立派な
雄の人間に育てて
みせます

は

は

は

プルン

ム

ム



……？

あら……
あら……？
あら……

……なんだか
震えるとはすこし
違うようですね…

よく見ると男性器が
大きくなっている
ような気がします…
この子の
その左手は…
何を意味しているの
でしょうか……？

ドキ

ドキ

っ♡

っ♡

ハ

あー……
随分と弱々しい
人間の雄ですねい

はい、そうです
今は私がこの子の
面倒をみます
どうでしょう？

可愛いと
思いません？
きやっ♡

…別に



エルフ山
ブルメンカール平原
休憩の小屋

巡回終わり
あ〜久しぶりの
お姉さまであ〜
それにしても…

お姉さまと遭遇して
直ぐ気付いた
あの二人、何か
変な雰囲気だった

まさか…今頃
良からぬ事してたり
して…

お姉さま
ただいまあ〜♡

ま、そんなわけ
ないっか
そもそも人間の
交配は禁止され
てるもんね

雄はほつといて
お姉さまにいつぱい
ナデナデ甘えさせて
もらうんだ〜♡
うひひ〜♡



おんぎゃあああああ
あああああああ
貫通してますかあ
あああああああ

あらら!?
随分と早い
帰還です
はい
バシ
ましたか

このことが長様に
知られたら大変に
貴女にも共犯者に
なってしまう
♡

あの...お姉さま
この子...
よく動きますね
うう...お姉さま
には逆らえない...

はい♡
貴女の為に
腰振って
くれますか?
♡

あつ...えと...
はい...と...
この子...と...
思います...
♡

うふふ♡



あの、お姉さま…
この子、私に
預けてみませんか？

それはできません
この子は私が立派な
人間の男にする
と長様に誓いました
から…

うふふ

はー

えい！
良いじゃないですかー
ちよつとだけ…む
あ、じゃあじゃあ…!!
も、一晩だけ泊まって
いきませんか？





…お姉ちゃん
大丈夫？

大丈夫…
大丈夫だから
ましょん歩き

交尾のしすぎで
腰痛が悪化した
なんてこと…
口が裂けても
言えませんが…
私の威厳が…

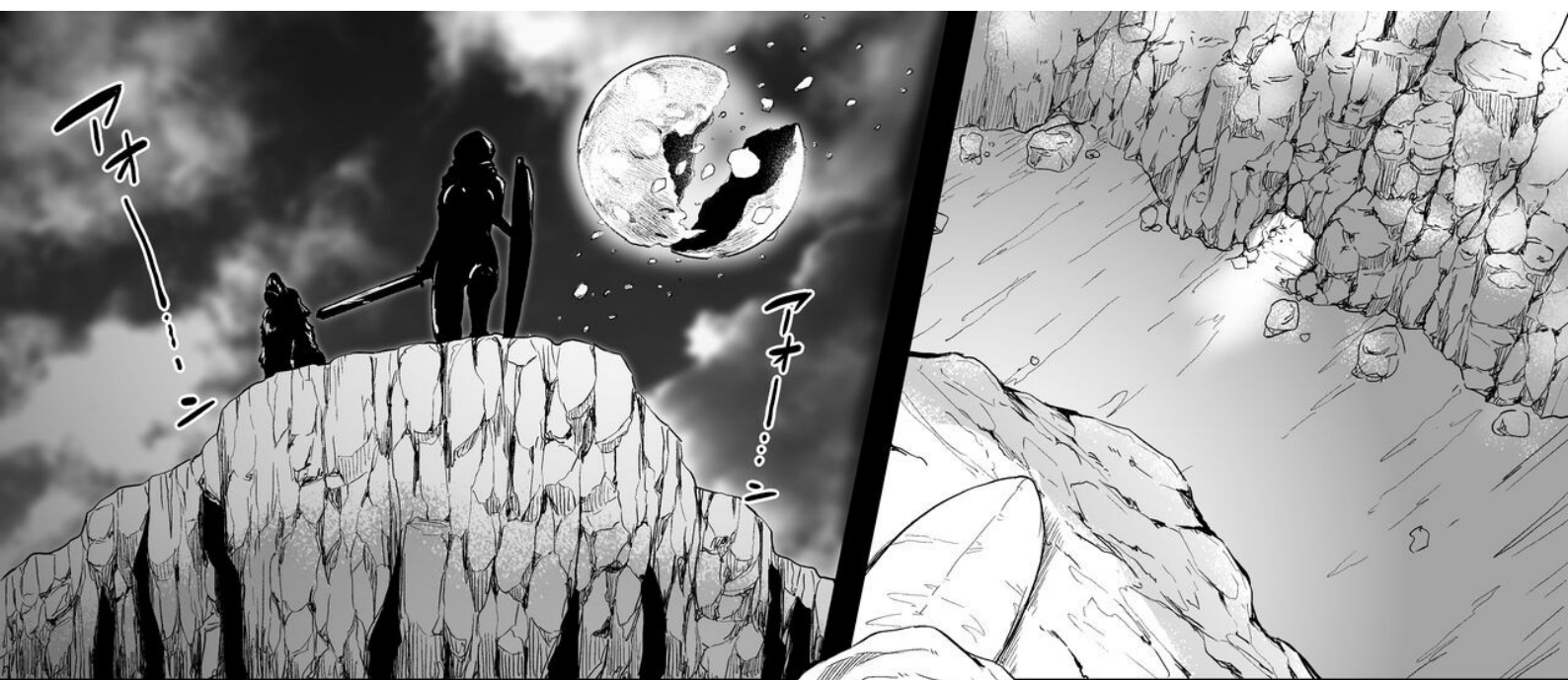


お姉ちゃん洞穴
あそこで休もう!!!

大丈夫です:
私こう見えて:
戦士タイプ
なのです:

お姉ちゃん:
ほんとに大丈夫?
さつきから:
ふらついてるよ







おなえびやめめあんっ!!

■前回までのあらすじ
洞窟で寝泊まり
朝目が覚めると
人間の雄が消えていた

だめっ、どこにも
いない……
まさか……盗賊!?
いえでも、ここいる
はずは……それとも
モンスターに……?

ハァッ

ぐわんぐわん

待つてね
私がすぐに助け
ますからね……!!



いったいなんぐ...

洞窟の中も
石の隙間にも
どこにもいない...

ハア...

ハア

わわっ

くらっ
くらっ
くらっ

くらっ



ワームロックス
別名、荒地の花
ですか……
あらあらー
どうでしょう…





開口部から口が...
ああ良かった
ただ水を飲みに来た
だけでしたか...

お食事でしたら
今頃大変なことに
なっていました...



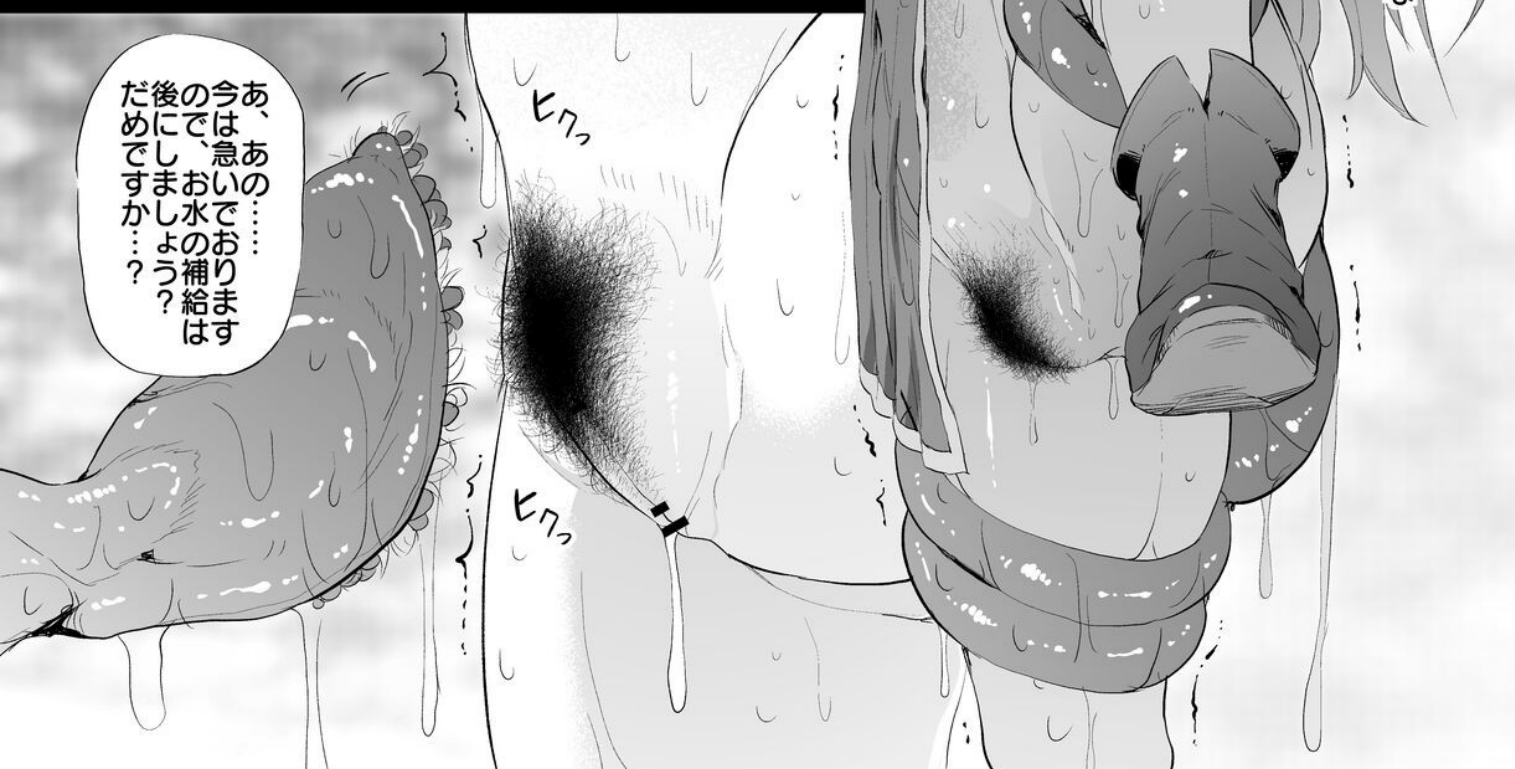
ああ...
なるほど...
そうでしたか...

うね

うね

確かに...
私も水ですよ

ではなぜ...
私がこのような
ことに...?



あ、あの...
今は急いでおります
ので、お水の補給は
後に行いますか...?



はひいっ...!!
吸わな...やめっ
離してえい...!!
えい...!!

だ...誰か...

ぐにょおおっ

コキュ

コキュ

ちゅん

ちゅん

ちゅん

あっ

あっ

あっ

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

クリ

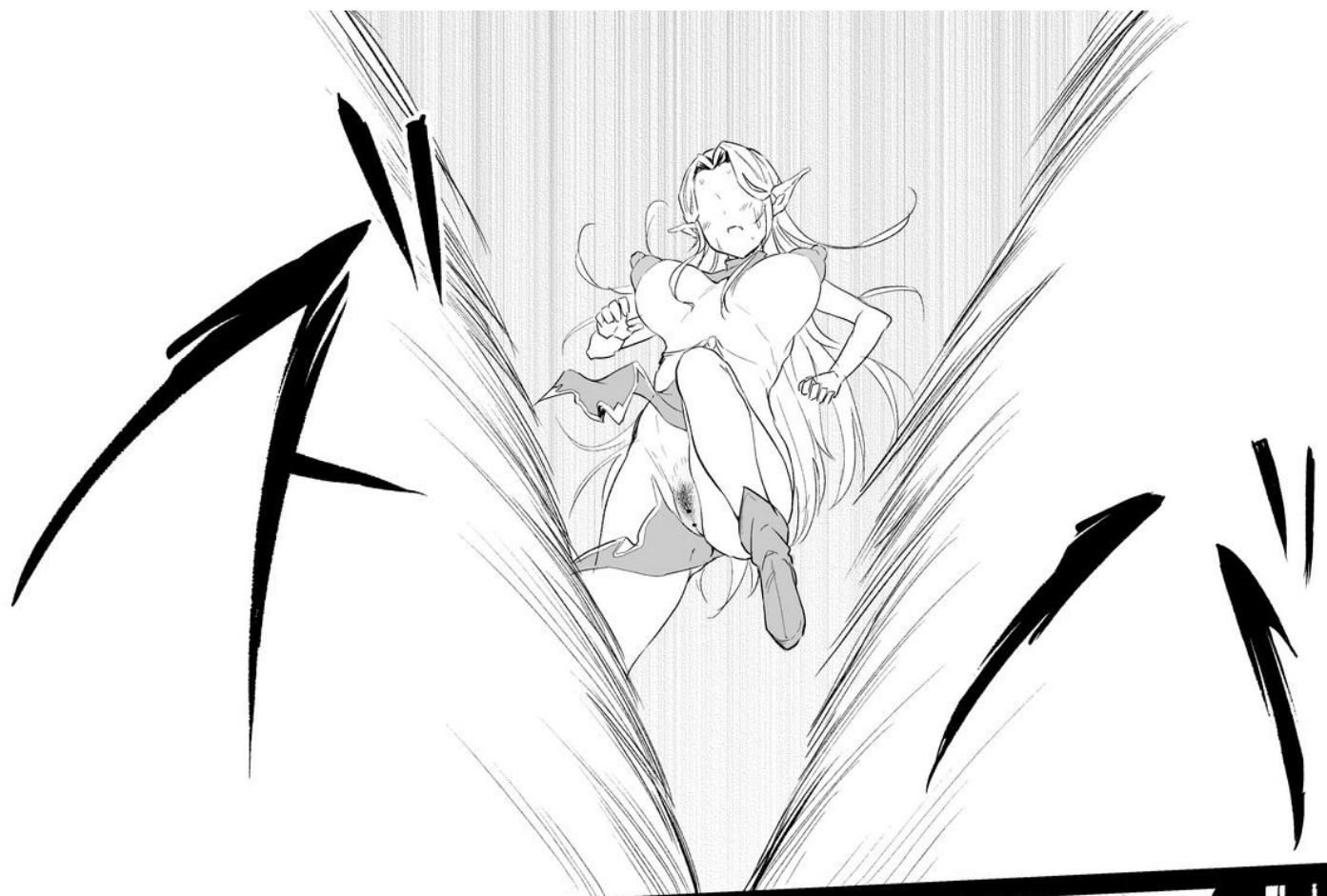
クリ



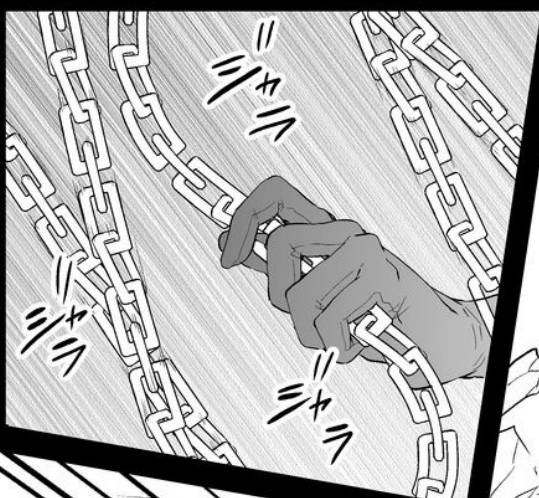
疲れてないですか？
大丈夫ですか？
もう少し歩いたら
休憩にしましょう

何故でしょうか…
ずっとお尻を
見られているような
気がします…











盗賊……？
いえ……？

あの容姿は……
人間……でしょうか？

あら……





めいめい……

ご無事で…
なによりです



あの…
あなたは…

なるほど…
間違いなく
エルフですね

ご安心を
あの子は無事です
私の小屋まで
着いてきてください



……話は分かった
だが、ダメだ
この子を渡す訳には
いかない

君の様なエルフに
この子を育てられるとは
思わない
この子もココで暮らす
方が、幸せになるはずだ

少し時間をくれ
この子ともう一度
じっくり話がしたい

そんな…!!

「いっ」



それから3時間後…

そいやあの
…

ああうん…話し合いは
終わった…
まあ…この子も特に
エルフといっても良いと
言う事だそうで…そこで
ちよっと相談なのだが
数日だけで良い
この子譲ってほしい



うおおお!?
な、なんぞ
こんなこと
で、私を抵抗
しなかつたんだ!!
何で私を抵抗
しなかつたんだ!!



……と、いう
ことがあった
ダメ……だよな
あは……

あたりまえです!!
いけません!!
確かに私はエルフ
ですが、そんなの
関係ありません!!

いやあ……
随分とタフな子
だった……
でも……ちよつと
泊まっていくくらい
なら……良いだろう?

泊まる事になった
続く……